

## 1 基本情報

- (1) 国名：モルディブ共和国（以下モルディブ）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ティラフシ島及びマレ島
- (3) 案件名：中古消防車両及び消防機材整備計画（The Project for Provision of Secondhand Fire Engine and New Equipment）
- (4) 計画の要約：本計画は、国家災害対策センターに対し、我が国の中古消防車両及び消防活動に必要な機材（赤外線カメラ及び酸素ボンベ）を供与することにより、脆弱な防災分野の強化を図り、適切な消防活動及び人命救助の実施に寄与することを目的とする。

## 2 計画の背景と必要性

### (1) 本計画を実施する外交的意義

モルディブは、我が国のインド洋シーレーンの要衝に位置し、地政学的な重要性を有する。日・モルディブ両外相は、2017年11月以来3度の外相会談を行い、自由で開かれたインド太平洋の実現に向けて海洋安全保障分野における協力を強化するとともに、防災などの分野において引き続き二国間で協力していくことを強調している。また、我が国は、対モルディブ国別援助方針の重点分野の一つとして「環境・気候変動対策・防災」を掲げている。本計画は、外相会談で強調された防災分野の協力関係の強化に資するとともに、右援助方針に合致することから、モルディブに対し本計画を実施する外交的意義は高い。

### (2) 防災分野の現状・課題及び本計画の位置付け

モルディブは大小約1,190の環礁島から構成される小島嶼開発途上国（SIDS）であり、南北823kmに島々が広がる細長い国である。広範に分布する小島に人口が分散していることが、経済社会開発上の制約の一因となり、防災分野をはじめとするインフラ整備が追いついていない。

本計画のプロジェクトサイトの一つであるティラフシ島は、首都マレ島から西方約6キロの地点に位置しており、首都圏の工業機能を集約した島で、造船所、大型ガスタンク、ガソリタンク、倉庫などが林立するとともに、1990年代からは化学・工業製品が混在するゴミ集積場所（面積は約20ヘクタール）としても役割を担う。ゴミ集積場所では自然発火が繰り返し発生しているため、現有する消防車1台が消火活動を行っているものの、老朽化が著しく故障も頻繁に起きている。また、工業地帯や労働者層が居住する地域などでも火災が頻繁に発生していることから、消防車両の追加配備が求められている。

また、首都マレ島の消防署では、消火活動中に救助対象者を見落とす事象が起きたことから、人命救助を第一とした、生存・生活・尊厳に対する脅威から人々を守るた

めの消防体制の強化及び防災能力の向上が喫緊の課題となっている。

本計画は、我が国の中古消防車両及び消防活動に必要な機材（赤外線カメラ及び酸素ボンベ）を整備するものであり、消防体制の強化及び防災能力の向上を目指す同国政府の取組方針に寄与するものである。

### 3 計画概要

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

本計画は、リサイクル草の根無償スキームにより、以下を整備するもの。

(ア) 我が国の中古消防車両 1 台

(イ) 消防活動に必要な機材（赤外線カメラ 1 台及び酸素ボンベ 3 台）

##### ② 期待される開発効果

モルディブ国内で災害時の対応及び災害に備える行政を担う唯一の機関である国家災害対策センターに本計画を実施することで、適切な消防活動及び人命救助の実施に寄与し、もってティラフシ島及びマレ島の住民約 11 万人の安全な生活が確保される。

##### ③ 計画実施機関／実施体制：国家災害対策センター（National Disaster Management Centre）及び消防・救急隊（Fire and Rescue Service）

##### ④ 運営／維持管理体制

国家災害対策センターは、現有する消防車両及び消防機材について予算を確保し、維持管理体制を構築している。また、本計画で供与予定の車両などについても、モルディブ国内でスペアパーツの調達及びメンテナンスを行うことが可能である。さらに、車両保険も加入し、事故などにも対応できるよう備える。

#### (2) その他特記事項

- モルディブの所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の可否について精査が必要である。モルディブは大小約 1,190 の環礁島から構成される小島嶼開発途上国（SIDS）であり、気候変動による海面上昇など、自然災害に対する脆弱性を有している（「環境的脆弱性」）。また、経済構造は外貨に依存する観光業が中心であるため、国際経済動向次第で国内経済も直接影響を受ける（「経済的脆弱性」）。さらに、脆弱な消防体制に起因する被害拡大などを避けるために迅速な対応が必要かつ人間の安全保障の観点から個人の生命や生活に対する脅威への対応が必要である（「緊急性・迅速性、人道上的ニーズ」）。加えて、外相会談でも強調された防災分野に係る協力であることから、二国間関係の強化の観点からも我が国にとり重要（「外交的観点」）。よって、本計画をモルディブに対して支援することは適当と判断できる。

以上

[別添資料] 地図

モルディブ共和国

モルディブ共和国 カーフ環礁

